

科 目 名		担 当 者 氏 名	授 業 形 式	単 位	開 講 時 期
栄養カウンセリング演習		秋山 佳代	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学 習 目 標	増加傾向にある生活習慣病の予防を行うため、個人に合わせた栄養教育を行うことが必要である。対象者の栄養評価を適切に行い、作成した栄養管理計画が実行されるためには、対象者を支援するためのカウンセリング技法を用いることが重要である。カウンセリングの基本的技法を習得し、各病態に合ったカウンセリングが行える力を身につける。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	食事療法の心理	行動の変化ステージと介入法			
2	栄養カウンセリング基本的技術	栄養カウンセリング、カウンセリングの基本的技術			
3	各病態とカウンセリング	食事療法が有効な疾患			
4	糖尿病のカウンセリング（1）	糖尿病の基礎知識			
5	糖尿病のカウンセリング（2）	糖尿病の行動科学的アプローチ			
6	脂質異常症のカウンセリング（1）	脂質異常症の基礎知識			
7	脂質異常症のカウンセリング（2）	脂質異常症の行動科学的アプローチ			
8	肥満症のカウンセリング（1）	肥満症の基礎知識			
9	肥満症のカウンセリング（2）	肥満症の行動科学的アプローチ			
10	高血圧症のカウンセリング（1）	高血圧症の基礎知識			
11	高血圧症のカウンセリング（2）	高血圧症の行動科学的アプローチ			
12	炎症性腸疾患のカウンセリング（1）	炎症性腸疾患の基礎知識			
13	炎症性腸疾患のカウンセリング（2）	炎症性腸疾患の行動科学的アプローチ			
14	食物アレルギーのカウンセリング（1）	食物アレルギーの基礎知識			
15	食物アレルギーのカウンセリング（2）	食物アレルギーの行動科学的アプローチ			
参 考 書	石井均編著「栄養士のためのカウンセリング論」建帛社 2008				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	実践力を身につけるように、積極的な姿勢で取り組むこと。				
評価の方法と時期	グループワークへの参加の仕方、出席日数、適時提出するレポート、発表内容で総合的に評価する。				